

2022年度 予算のお知らせ



収入支出予算額

健康保険

29億9,632万円

介護保険

3億4,291万円

保険料率

健康保険料率(9.00%)、
介護保険料率(1.93%)ともに据え置き

当健康保険組合の2022年度予算が2022年2月24日の組合会において、可決されました。今年度は2022年度の診療報酬改定(+0.43%)と被保険者の増加等を見込んだ予算編成を行いました。

おもな収入

●保険料収入

健康保険組合の収入のほとんどは、みなさまからの保険料です。2022年度は被保険者数と賞与保険料の増を見込み、28.3億円といたしました。

●国庫補助金収入

特定健診・保健指導の実施を支援するための特定健診・特定保健指導補助金などです。

おもな支出

●保険給付費

みなさまがお医者さんにかかったときの自己負担(2～3割)以外の医療費や、出産・傷病時の各種手当金も保険給付費から支払われています。2020年度は新型コロナによる受診控えや治療の先送りなどで一時的に減少しましたが、昨年はその反動や診療報酬の引き上げ、傷病手当金の支給期間の通算化(2022年1月改正)、加入者増等を考慮し、12.6億円を計上しました。

●保健事業費

健診や特定保健指導、各種健康づくりの費用として3.4億円を見込みました。新型コロナ流行下においては、一時的に健診や特定保健指導を受ける方が減少しましたが、現在は回復傾向にあり、2022年度はさらなる受診率・参加率向上を目指していきます。また、リモートやWEBを使った事業も推進していきますので、積極的にご利用ください。

●各種納付金

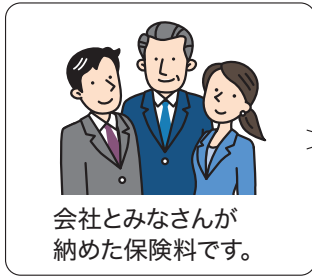
健康保険組合では高齢者のための医療費を国へ納付しており、2022年度は9.9億円支出します。これは支出の約3割を占めており、2021年度より1億5,800万円増となり健保財政にとって大きな負担となっています。

2022年10月からは一定所得以上の後期高齢者(現役並み所得者は除く)の窓口負担割合が1割から2割に引き上げられますが、配慮措置(*)もあり、わたしたち現役世代の負担軽減効果は期待できない状況です。

* 外来受診については、2025年までの3年間は負担増を最大月額3000円までとする措置。

一般勘定

収入



健康保険収入
2,830,944千円
94.48%

調整保険料収入
41,582千円 1.39%

国庫補助金収入
1,125千円 0.04%

財政調整事業交付金
7,500千円 0.25%

繰越金
100,000千円 3.34%

特定健康診査等事業収入
8,329千円 0.28%

その他
6,840千円 0.23%

支出

事務費
43,393千円 1.45%

保険給付金
1,257,210千円
41.96%



納付金
993,022千円
33.14%

高齢者医療費のために約3割を支出しています

保健事業費
339,644千円 11.34%

財政調整事業拠出金
41,582千円 1.39%

その他
364,862千円 10.73%

収入支出予算額 2,996,320千円

予算の基礎数値 (一般勘定)

- 被保険者数(年間平均) 4,500人
- 平均標準報酬月額 404,859円
- 総標準賞与額(年間合計) 10,775,568千円
- 一人当たり保険給付費 279,380円



介護勘定

収入

介護保険収入
332,908千円

繰越金
10,000千円

雑収入
3千円

支出

介護納付金
315,400千円

還付金
238千円

その他
27,273千円

収入支出予算額 342,911千円

健康保険組合では市区町村に代わり、40歳以上65歳未満の人の介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納めています。高齢者の増加に伴って介護納付金も増加しており、収入支出予算額は3.4億円となりました。